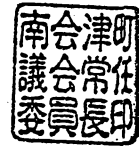




24 議委 第28号
平成24年6月12日

南会津町議会議長 芳賀沼 順一 様

産業建設委員長 山内 政



所 管 事 務 調 査 報 告 書

所管事務調査について、調査した結果とその内容を下記のとおり報告いたします。

記

1. 調 査 日 平成24年4月24日（火） 午前9時53分から午後3時40分まで
2. 目 的 ①公共施設等に係るLPガスの使用に関する陳情の現地調査
 ②針生地区からの要望に関する現地調査
3. 参 加 者 委員長 山内 政・副委員長 阿久津梅夫
 委 員 長谷川耕一・室井 嘉吉・湯田 哲・渡部 忠雄
 事務局 鈴木 雄蔵
 針生区 区長 星 喜弥、副区長 平野 義武
4. 説 明 員 ・びわのかげ保育所、所長 星 不二夫
 ・教育委員会学校教育課長 原田 稔
 ・商工観光課、課長補佐 羽染 正巳
 ・農林課長 大竹 洋一、土木係長 室井 利和、主査 菊地 孝幸
 ・建設課、課長補佐 大橋 三郎、主査 河原田庄佐
 ・社会福祉協議会事務局長 渡部 浩治

5. 調査日程及び結果

1) 公共施設等に係るLPガスの使用に関する陳情の現地調査

◎ 本庁議員控室で開会、9:53 あいさつ、日程説明後、現地に向かう。 10:13～

ア、びわのかげ保育所

10:18～10:45

- ・ 厨房も含め完全に電化されている施設。施設の性格上「火」をまったく使用されていないことの重要性、このことがこの施設の最大限重要視されたことであると説明を受ける
- ・ 子供たちの昼食を調理中であったが揚げ物も煮物も特に支障なく調理されていた。
- ・ 補助電源は現在そろえていない、あるのは消防法で定められている予備電源しかない。発電機は必要である、とのことであった。

イ、田島学校給食センター

10:55～11:35

- ・ オープン前の施設を見学した。全てが電化されていた。説明を受ける中で電化のメリットについて次のことを挙げていた。
 - 機器の設置費用についてはガス機器の方が15%程度安い、しかしバーナー等の燃焼部の耐用年数が電気機器と比較すると短く、長期的にみれば費用の差は縮小していくと考えられる。
 - ランニングコストはガスより低額である。しかもガスの燃焼により室温の上昇や排気発生による換気回数の増加のため、冷房機器の負担が増大する。ただし初期投資コストは電気機器の方が高いが、建設から8年程度で電気機器の方が経費の削減ができ投資コストを回収できると思われる。
 - 今後予想される再生可能エネルギーへの対応が電気方式だと取り付け工事等が低額の費用で施工できる見込みである。
 - 働く人にとっても、「火」が無いいため火災や不完全燃焼の心配がなく安全である。ガスレンジの掃除等の手間が省けて調理後のメンテナンスに要する労働時間の短縮が図られる。電気機器の温度管理はガス機器より容易なため、取り扱いに特別な資格も必要がなく誰でも扱いができる。そして「火」が出ないため空気を汚さず室内の輻射熱も少ないため快適な環境で作業ができる。
 - 電化厨房では温度上昇と湿度の上昇を押さえることができることから、食中毒の防止など、衛生的な給食を提供できる。
 - 電気式はガスと比べ、CO₂排出量を25%程度削減でき、地球温暖化防止に貢献できる。
- ・ 予備電源はない、この施設の予備電源を想定すると相当の施設が必要であり、今は考えていないということであった。相当大掛かりの設備が必要である。

ウ、福祉ホール

11:45～11:55

- ・ 高齢者の使用を想定し「火」の出ない電気機器の調理器具であった。特に問題はないということであった。

2) 針生地区からの要望事項に関する現地調査

ア、針生地区中央管理棟入口の改修について 12:55～13:10

- ・ 施設のバリアフリー化を実施していただきたい。
- 針生小学校統合後の校舎利用等の今後の推移をみて、対応して行きたい。商工観光課。

イ、生活用水路及び農業用水路の整備について 13:12～14:00

- ・融雪溝整備をお願いしたい。
 - ・駒止峠からの沢水取水口には安定的な水確保のため、水門の設置をお願いしたい。
- 課に持ち帰って協議したい。農林課

ウ、町道、農道の整備について 14:05～14:25

- ・下原墓地より赤穂原基幹農道に接する間の簡易舗装をお願いしたい。
- 直ぐ近くに集落から基幹農道に接続する町道が舗装されているので利用してほしい。建設課

3) 審議 本庁3階議員控室

14:55～15:35

①公共施設等に係るLPガスの使用に関する陳情について

- ・施設を訪問し安全性が前面に出ていた。時代の流れを感じる。一方LPガスの方も施設が大口の需要だったので陳情の趣旨は理解できる。電化ももつともである。
- ・陳情に対しては採択には反対である。今日現地調査した施設以外は殆どLPガスを使用している。今後は施設計画の段階でガスにするか電化にするか判断すればいいのでないか。
- ・オール電化を再考してほしいということには反対である。今のままやって行くべきである。オール電化にしろ、公共施設にはもしもの災害に対応できる事、二次の備えが必要である。今後作る施設についてはLPガスの施設も必要なのではないか。
- ・オール電化はこれから必要である。
- ・学校関係や子供の施設では直接「火」がでることは危ないことがわかった。太陽光発電も今後必要、しかし災害時に対応ができなければ意味がない。陳情に対しては現時点では白黒つけられない。

②針生地区からの要望事項について

- ・町道の簡易舗装は是非進めていただきたい。
- ・各行政区から要望が出てきている。それぞれ問題があるのではないか。
- ・今日のように現地を歩いて調査することで地域の人にも理解してもらえる。水路の改修を一番先に行なうべきである。
- ・地区の多くの要望事項の中から特に3つに集約して出てきたのであるから、1つくらいは実現できるように要請して行くべきである。

◎ 本庁3階議員控室で閉会

15:40

6. 総 括

- ・公共施設等に係るLPガスの使用に関する陳情に対して委員会付託を受け、継続審査のため該当する公共施設を現地調査した。幼児を受け入れている施設は「火」を使用しないことの重要性を確認した。調理数の多い給食センターではオール電化によるメリットが多いことも確認した。ただいずれの施設も停電に対する備えが不十分である。東日本大震災の教訓の中でLPガスの重要性もしっかりと認識できた。しかしながら既存及び新設の公共施設についてLPガスにするように求めていることに対しては、今までの議会での審議議決を踏まえて施設が稼動していることを踏まえて、後戻りはできないということが委員会としての方向のようである。今後の公共施設整備に当たり、全てをオール電化にするのではなく施設の用途にあった方策が必要なのではないだろうか。現に当町ではLPガスのメーターを製作している会社もある。地産地消の観

点からや地元企業支援と言う意味でも製品を採用することは雇用確保にもつながると思われる。

- ・針生地区からの要望については、議会報告会で要望事項は執行部ともに議会議長宛にも提出していただきたい旨の話しをしてきた結果であると思われる。以前かなりの数の要望事項をだされたようであるが今回は3つに絞り提出された。いずれにしても区として緊急の要望事項なのでゼロ回答でなく今後の計画等も含めた対応をしてもらいたいと思う。今後も継続的な調査が必要。